

# 学生における慣用色名の知識

石原久代

## On Student's Concept of Conventional Names of Colors

Hisayo ISHIHARA

### 緒 言

外界からの視覚による情報は、対象の大きさ、形、色彩、運動などに分けられるが、中でも色彩は非常に重要な情報の1つであるといえる。JIS Z 8102 (1961)では色名に関する項目があり、色名を一般色名と慣用色名に分類し、規定している。一般色名においては、色相名を赤、黄赤、黄、黄緑、緑、青緑、青、青紫、紫、赤紫といった基本色名を規定し、それらの色名に用いる明度、彩度に関する修飾語として、うすい、ごくうすい、におい、暗い、ごく暗い、あざやかな、ふかい、さえた等が決められている。

しかし、私達が実際に物体の色彩の表現、あるいは伝達に使用する場合、うすい赤などと表現するよりも、ピンク、桃色などと表現した方が判り易く、また、暗い青と表現するよりも紺色と言った方が正確に伝達できるように、実際の生活においては慣用色名の方が使用頻度が高いと思われる。

一方、情報化社会といわれる今日では、次々と新しい物が生まれ、新しい名前が付けられている。それに伴って、色彩表現においてもJISに規定されている慣用色名以外にも聞きなれない色名が雑誌やカタログ等で出現し、これら一方的に提案される情報が実際に消費者に的確に理解されているかについては疑問がもたれる。

そこで、本研究においては、流行情報に対して最も敏感な女子大生および女子高校生を中心にどの程度これらの色名が理解されているかについて調査を行い、その知識度にどのような要因が影響しているかについて検討を行った。

### 方 法

#### 1. 使用色名

本学学生5名(19~20歳)により、世界慣用色名色域辞典<sup>1)</sup>に記されている日本語色名208色、英語色名794色、フランス語色名243色の計1245色の中から、5名全員がこれまで耳にしたことのある色名200色を選出した。更に、今後の調査の展開において200色すべての知識度を検査するには多すぎるため、50名の学生を用いてこれらの色名の認識度の予備調査を行い、表1に示したような上位80色を使用色として選出した。表は赤色相から紫色相に向かって色相環順に示したが、実際の調査にあたっては、ランダムに提示した。尚、使用色には8色の無彩色とゴールドが含まれている。

表1 使用色名

No	慣用色名	代表的な色の 三属性表示	No	慣用色名	代表的な色の 三属性表示
1	ストロベリー	1R4/14	41	レモン色	8Y8/12
2	ローズ	1R5/14	42	鶯色 (うぐいすいろ)	1GY4.5/3.5
3	珊瑚色 (さんごいろ)	2.5R7/11	43	抹茶色 (まっちゃいろ)	2GY7.5/4
4	チェリーピンク	2.5R9/6	44	モスグリーン	2.5GY5/5
5	茜色 (あかねいろ)	4R3.5/11	45	若草色 (わかくさいろ)	3GY7/10
6	臙脂色 (えんじいろ)	4R4/11	46	ライムグリーン	3.75GY7/8
7	朱色 (しゅいろ)	6R5.5/14	47	山葵色 (わさびいろ)	7.5GY7/3
8	海老茶 (えびちゃ)	8R3/4.5	48	エメラルドグリーン	4G6/8
9	小豆色 (あずきいろ)	8R4.5/4.5	49	深緑 (ふかみどり)	5G3/7
10	サーモン (ピンク)	8R7.5/7.5	50	ミントグリーン	5G9/4
11	チョコレート (ブラウン)	10R2.5/2.5	51	マリンブルー	5B3/7
12	シナモン (ブラウン)	10R5.5/6	52	セルリアンブルー	9B4.5/9
13	柿色 (かきいろ)	10R5.5/12	53	スカイブルー	9B7.5/5.5
14	ココア	2YR3.5/4	54	藍色 (あいいろ)	2PB3/5
15	栗色 (くりいろ)	2YR3.5/4	55	鉛色 (なまりいろ)	2.5PB5/1
16	トパーズ	2.5YR6/4	56	コバルトブルー	3PB4/10
17	アプリコット (イエロー)	2.5YR8/4	57	ネイビーブルー	6PB2.5/4
18	ピーチ	3YR8/3.5	58	紺	6PB2.5/4
19	サンドベージュ	3.75YR5/2	59	瑠璃色 (るりいろ)	6PB3.5/11
20	キャメル (ブラウン)	4YR5.5/6	60	藤紫 (ふじむらさき)	7.5PB5/6
21	らくだ色	4YR5.5/6	61	藤色 (ふじいろ)	10PB6.5/6.5
22	ブロンズ	5YR2/5	62	グレープ	10PB3/10
23	焦茶 (こげちゃ)	5YR3/2	63	バイオレット	2.5P4/11
24	蜜柑色 (みかんいろ)	6YR6.5/13	64	堇色 (すみれいろ)	2.5P4/11
25	杏色 (あんずいろ)	6YR7/6	65	江戸紫	3P3.5/7
26	狐色 (きつねいろ)	7.5YR6/8	66	チャコールグレー	5P3/1
27	琥珀色 (こはくいろ)	8YR5.5/6.5	67	ラベンダー	5P6/5
28	小麦色 (こむぎいろ)	8YR7/6	68	ライラック	6P7/6
29	セピア (ブラウン)	10YR2.5/2	69	レーズン	7.5P2/4
30	黄土色 (おうどいろ)	10YR6/7.5	70	牡丹色 (ぼたんいろ)	2.5RP8/7
31	ベージュ	10YR7/2.5	71	ワインレッド	10RP3/9
32	山吹色 (やまぶきいろ)	10YR7.5/13	72	薄紅 (うすべに)	10RP7/3
33	卵色 (たまごいろ)	10YR8/7.5	73	スノーホワイト	N9.5
34	生成 (きなり)	10YR9/1	74	純白 (じゅんぱく)	N9
35	カーキー	1Y5/5.5	75	乳白色	N9
36	ブロンド	2Y7.5/7	76	シルバーグレイ	N6.5
37	ひまわり色	2Y8/14	77	鼠色 (ねずみいろ)	N5.5
38	アイボリー	2.5Y8.5/1.5	78	灰色 (はいいろ)	N5
39	芥子色 (からしいろ)	3Y7/6	79	墨色 (すみいろ)	N2
40	クリーム	5Y8.5/3.5	80	ゴールド	

## 2. 調査方法

選出した80色名を用いて(1)この色名を知っているか否か、(2)実際にこの色名がどのような色彩か判るかについて、本学学生391名(18~20歳)を被験者としてアンケート調査を行うと共に、色名の知識度に関与する要因を検討するために、これら各被調査者のプロフィール、1カ月の平均小遣い、1カ月の平均被服費、色彩情報の入手方法、ファッションへの関心度、嗜好色、ブランドへの関心度、被服購入店舗、雑誌購読率、購読雑誌の種類などについても同時に調査を行った。調査は1991年5月~6月に集合調査法にて行った。また、年齢による知識度の違いを検討するために、同じ項目を用いて、被服への関心が高いと考えられる高校生として県立高等学校の服飾デザイン科の2年生66名についても同様の調査を行い、大学生との比較検討を試みた。更に、色名の知識度にどのような要因が関与するかを検討するためにこれらの質問項目をアイテムとして数量化Ⅱ類により要因の分析を行った。

### 結果および考察

#### 1. 慣用色名の知識度

使用色名の知識度の調査結果を図1-1~図1-3に示した。各色名ごとに「Q1色名を知っているか」「Q2どのような色彩か判るか」の項目に「イエス」と回答した学生の出現率を高校生・大学生別にグラフにまとめた。まず、左グラフに示した「色名を知っているか」について、被験者全員が知っているとして回答した色名として、大学生では、黄土色、ベージュ、深緑、藍色、純白、灰色の6色名のみであったのに対し、高校生においては、その他に焦茶、クリーム、抹茶色、紺、ワインレッド、鼠色等も100%の知名度を示しており、大学生の2倍近い出現率であった。

逆に、高校生において最も知名度の低い色名はチャコールグレーであり、知っているとしたのは28.8%のみであった。次いでひまわり色の40.9%、乳白色の42.4%と続いている。一方、大学生においては、シルバーグレーが高校生同様最も低いが、数値としては54.6%を示しており、次いでトパーズが56.0%、チャコールグレーが56.4%と続いている。このように、大学生においては、半数以上の学生が知らないとして回答している色名は全く出現していないのに対し、高校生では、上記3色以外にらくだ色、ライラック等も50%以下であり、かなり多くの色名が知られていないという結果であった。しかし、使用色全体をみれば大学生より高校生の方が多くの人知っている色名は38色あるのに対し、大学生の方が多く知っている色名は33色と色名数においては、高校生の方がわずかではあるが勝っていた。しかし、高校生の方が勝っている色名は、大学生における知名度とはそれほどの差のない色名が多いが、茜色、琥珀色、カーキー、ひまわり色、アイボリー、チャコールグレー、乳白色など大学生の方が勝っている色名の多くは、知名度の数値の上で高校生より18~30%程度も高く、その差はかなり大きいといえる。

次に、実際にどのような色彩か判るかという色名の理解度については、焦茶、黄土色、ベージュ、山吹色、抹茶色、深緑、藍色、紺、鼠色、灰色等が高校生、大学生ともに特に高い値を示しているが、これらの色彩は、ベージュを除けば、すべて日本語の色名であるといえる。逆に理解度の低い色名としては高校生ではチャコールグレー、トパーズ、ライラック、サンドベージュ等があげられ、いずれも20%以下の理解度であった。また、大学生においても色名としてはライラック、トパーズ、サンドベージュなど類似した色彩があげられているが、最も低い色彩でも20%以上であった。また理解度が50%以下の色名は高校生が23色、大学生でも19色も出現している。更に、色名の知名度に比べ、理解度が半数以下を示した色名では、海老茶、トパー

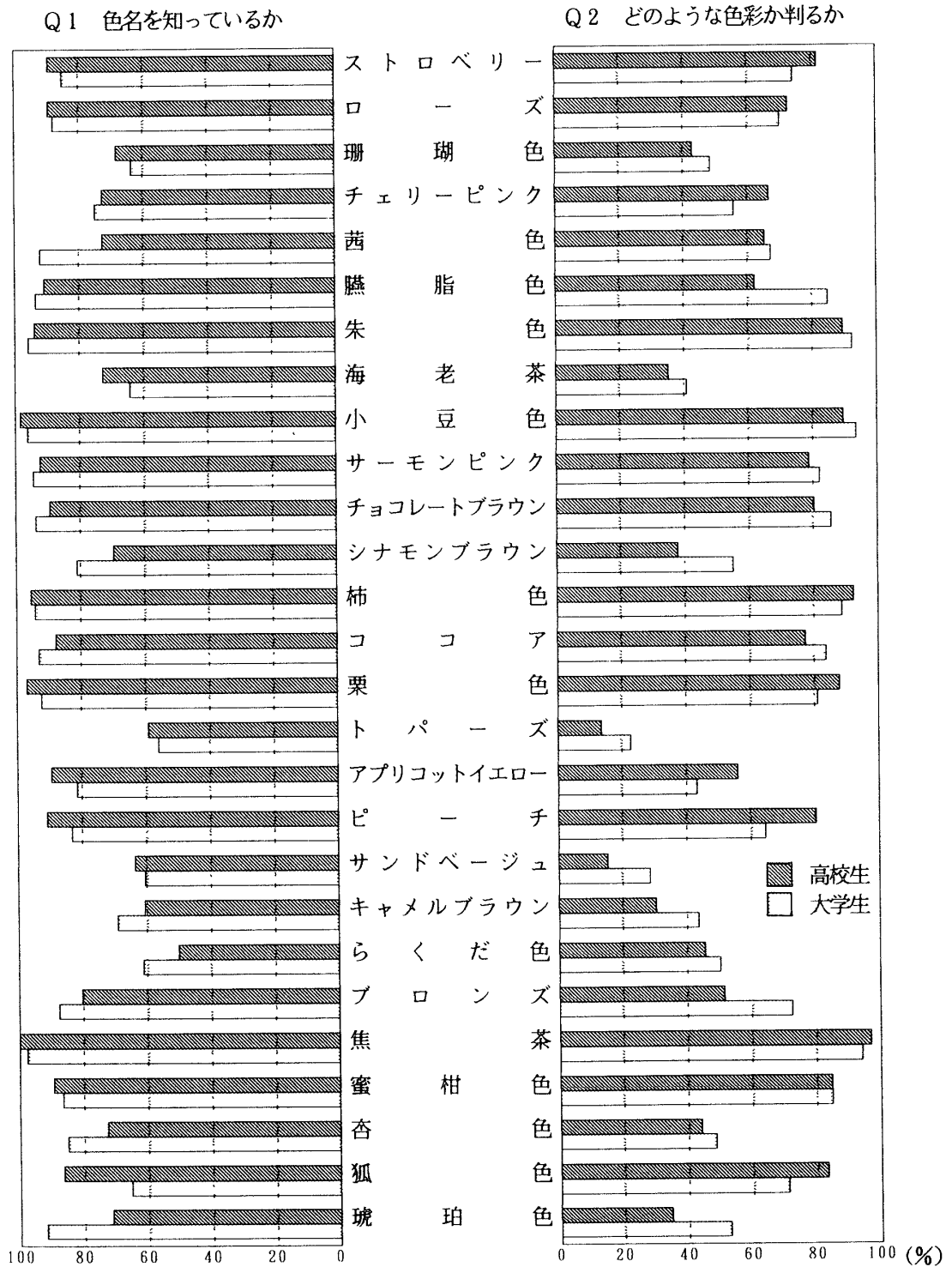


図1-1 調査結果 (1)

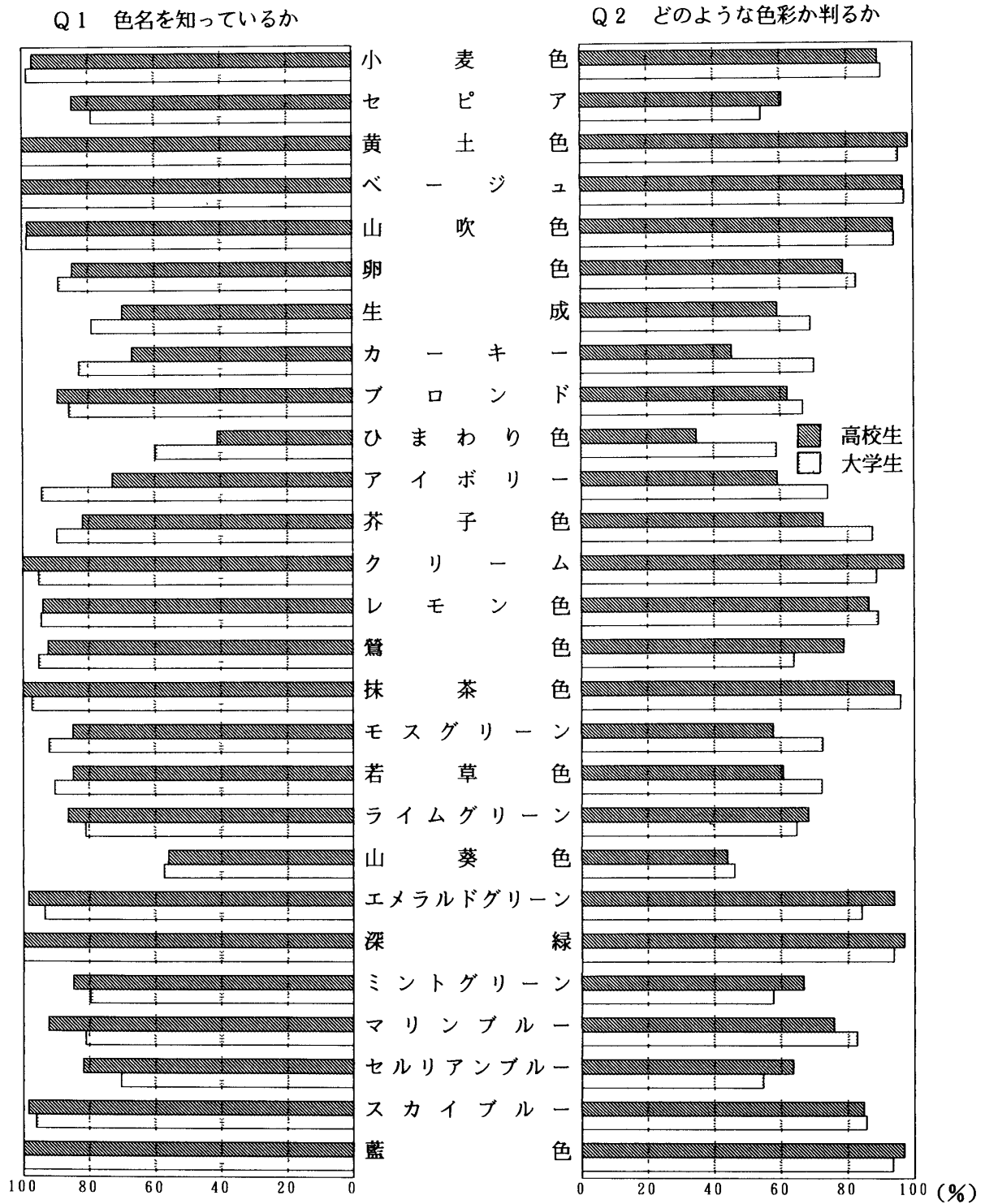


図1-2 調査結果 (2)

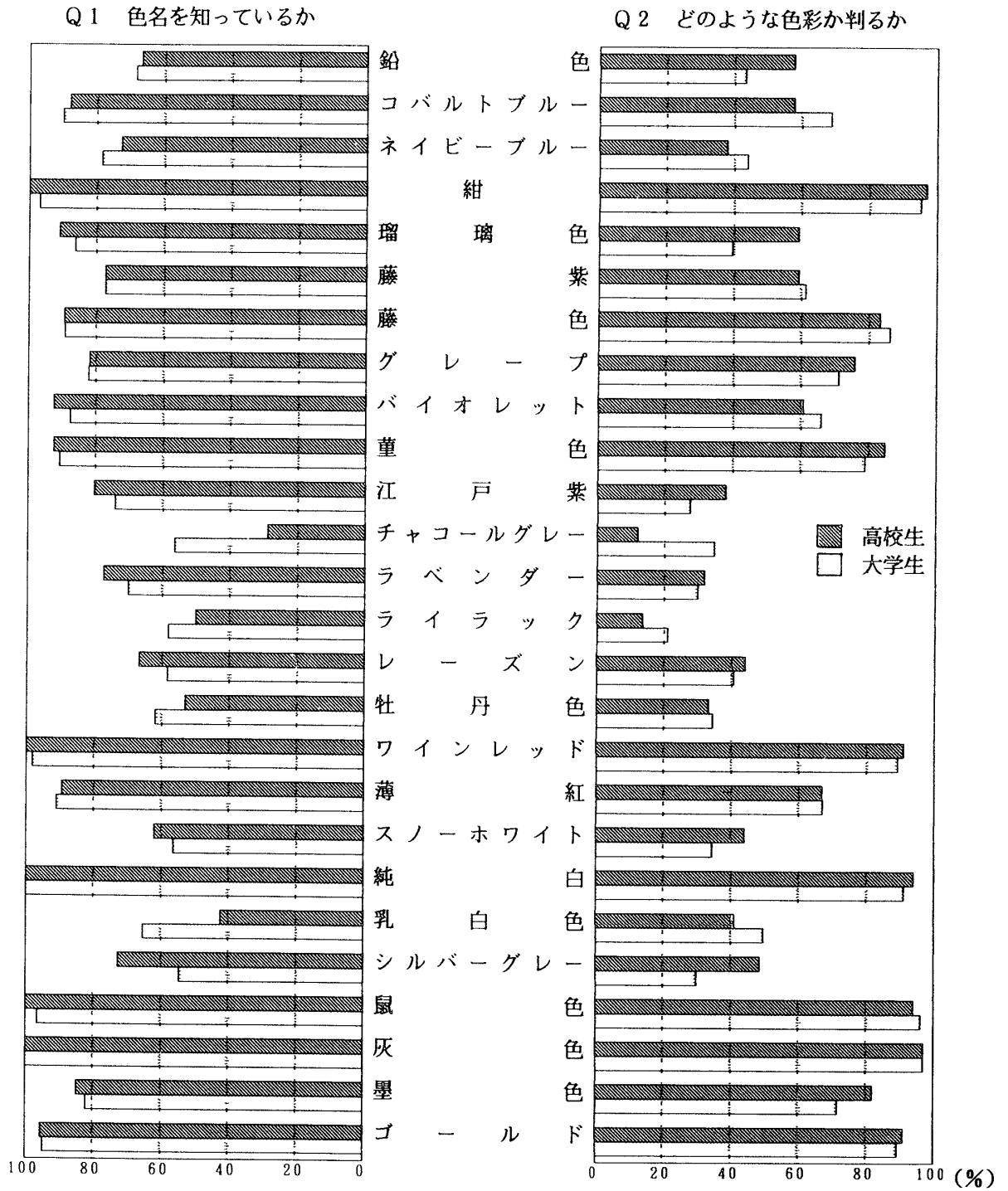


図1-3 調査結果 (3)

ズ、サンドベージュ、キャメルブラウン、杏色、琥珀色、ネイビーブルー、江戸紫、チャコールグレー、ラベンダー、ライラックなどかなり多くの色彩があげられ、色名のみが先行し、実際の色彩が把握されていないことが明らかになった。

また、珊瑚色、海老茶、小豆色、トパーズ、サンドベージュ、藤色、バイオレット、鼠色は知名度においては、大学生より高校生の方が高い値を示していたが、どのような色彩か知っているかの項目においては大学生の方が高くなっている。このように、先の色名の知名度については高校生の方が数の上で勝っていたが、理解度においては、高校生の方が高い値を示した色彩が33色に対して大学生が47色と大学生の方が色彩そのものの理解度は高いことが明らかになった。尚、高校生の方が高い理解度を示した色名は伝統色名の江戸紫を除けば、身近にある植物や食べ物の名前からとられたものがほとんどであるといえる。

## 2. 慣用色名の知識度に関与する要因

各質問項目をアイテムとして数量化Ⅱ類により分析した結果を表2に示した。大学生、高校生別に色名の知識度に関与する要因を検討することを目的としたため、別々に分析を行った結果、第1根における相関比は大学生が0.816、高校生が0.903と非常に高い値が得られたため、両者の第1根を併記した。まず、「何系の色彩が好きですか」の項目に対して、大学生においては、それほど高い偏相関を示さず、嗜好色と知識度との関係は少ないと思われるが、高校生については赤系の色彩の偏相関が0.637と高く、そのウエイトで「はい」が0.816を示していることから赤系を好む学生は色名の知識度が高いといえる。また、無彩色の偏相関も0.533と高いが、「いいえ」のウエイトがマイナスで高い値を示していることから、無彩色を好まない学生は色名についての知識度が低いといえる。

次に、色彩に関する情報の入手方法において、大学生では「学校」のレンジが2.171、偏相関係数が0.494と全てのアイテムの中で最も高い値を示している。更に、ウエイトの数値より、「はい」が2.056と高い値を示していることから学校から色彩情報を入手していると回答している学生が色名についての知識度が高いといえる。それに対し、高校生については「学校から情報を入手する」はほとんど関与せず、「家族から得る」と回答している人物の知識度が高くなっている。大学生において学校からの入手が知識度に大きく影響を及ぼしているのは、色彩学等の講義科目も開講されており、その点において高校生と大きく異なった結果になったと考えられる。また高校生の家族には、兄弟なども入っており、それらから情報入手することによって知識に結びついているのではないかと考えられる。

雑誌の購読率については、高校生では全てのアイテムの中で最も大きく影響するという結果が得られ、偏相関係数は0.741であった。大学生についてもやや高い係数を示しており、どちらも「よく購読する」と回答している学生の知識度が高いといえる。また、購読する雑誌の分野では趣味・娯楽誌において高校生でやや影響しているといえるが、ファッション雑誌、芸能情報誌、スポーツ誌ともにほとんど影響しないという結果であった。しかし、高校生においては「学術雑誌をよく購読する」が大きく影響しており、購読している学生が色名の知識を多くもっているといえる。大学生においては、学術雑誌をよく購読すると回答した学生は全く出現しなかったためか、購読雑誌の種類との関係はわずかなものであった。

また、「月平均小遣い」は大学生、高校生共に高い偏相関が得られており、そのウエイトからいずれも「4万～5万円」が高い値を示し、大学生で1.181、高校生で1.464であった。逆に、「1万円未満」が大学生で-0.352高校生で-2.359と、小遣いが多くなるほどウエイトが高くなるという結果であった。更に、「月平均被服費」においては、大学生の偏相関は0.329とそれ

表2 数量化Ⅱ類によるカテゴリー別ウエイト, レンジ, 偏相関係数

アイテム (質問項目)	カテゴリー		大 学 生		高 校 生	
			ウエイト	レンジ 偏相関係数	ウエイト	レンジ 偏相関係数
何系の色彩が好きですか	赤系	はい	-0.388	0.473	0.816	1.099
		いいえ	0.085	0.193	-0.283	0.637
	黄系	はい	1.267	1.306	-0.396	0.443
		いいえ	-0.039	0.229	0.047	0.205
	青系	はい	0.381	0.508	0.133	0.199
		いいえ	-0.127	0.210	-0.066	0.145
	緑系	はい	-0.728	0.774	-0.548	0.738
いいえ		0.046	0.191	0.190	0.461	
茶系	はい	-0.110	0.129	-0.255	0.337	
	いいえ	0.019	0.049	0.082	0.239	
無彩色	はい	0.096	0.283	0.250	0.916	
	いいえ	-0.187	0.132	-0.666	0.533	
色に関する情報はどのような手段で得ることが多いですか	新聞	はい	0.616	0.684	-0.104	0.107
		いいえ	-0.068	0.221	0.003	0.033
	雑誌	はい	0.034	0.130	-0.095	0.393
		いいえ	-0.096	0.061	0.298	0.245
	テレビ	はい	0.141	0.271	-0.065	0.102
		いいえ	-0.130	0.140	0.037	0.083
	ラジオ	はい	-0.040	0.041	-0.825	0.851
		いいえ	0.001	0.006	0.026	0.239
	家族	はい	0.281	0.302	2.881	2.925
		いいえ	-0.021	0.082	-0.044	0.500
友人	はい	0.256	0.312	-0.005	0.006	
	いいえ	-0.056	0.114	0.001	0.081	
学校	はい	2.056	2.171	-0.190	0.358	
	いいえ	-0.115	0.494	0.168	0.290	
雑誌をよく購読する方だと思いますか	よく購読する		0.737	1.441	0.597	1.392
	時々購読する		0.048		-0.799	
	殆ど購読しない		-0.704	0.306	-0.533	0.741
購読する雑誌はどのような分野のものが多ですか	ファッション雑誌	はい	-0.149	0.747	-0.060	0.331
		いいえ	0.598	0.253	0.271	0.186
	芸能情報誌	はい	-0.243	0.284	-0.147	0.216
		いいえ	0.041	0.113	0.069	0.146
	スポーツ誌	はい	-1.185	1.247	0.490	0.513
		いいえ	0.062	0.278	-0.023	0.155
	趣味・娯楽誌	はい	-0.379	0.512	-0.429	0.590
いいえ		0.133	0.201	0.161	0.394	
学術誌	はい			5.920	6.011	
	いいえ			-0.091	0.726	
月平均小遣はいくら位ですか	1万円未満		-0.352	1.533	-2.359	3.823
	1万~2万円		-0.268		-0.012	
	2万~3万円		0.490		0.300	
	3万~4万円		0.762		0.270	
	4万~5万円		1.181	0.469	1.464	0.486
月平均被服費はいくら位ですか	2千円未満		0.013	0.808	0.417	1.312
	2千~5千円		-0.235		0.168	
	5千~1万円		0.225		-0.095	
	1万~2万円		-0.183		-0.895	
	2万円以上		0.573	0.329		0.500
ファッションへの興味はある方ですか	かなりある		0.008	0.916	-0.072	0.387
	少しある		0.035		0.057	
	全くない		-0.881	0.159	0.315	0.117
ブランドを気ににする方ですか	かなり気にする		0.353	0.689	1.344	1.493
	少し気にする		0.283		0.117	
	全く気にしない		-0.345	0.282	-0.149	0.372
主にどのような店舗で被服を購入しますか	百貨店	はい	-0.100	0.175	0.191	0.450
		いいえ	0.075	0.067	-0.259	0.278
	専門店	はい	-0.354	1.041	0.190	0.502
		いいえ	0.687	0.343	-0.312	0.313
	量販店	はい	-1.197	1.209	0.237	0.274
		いいえ	0.012	0.131	-0.037	0.162
相 関 比			0.816		0.903	



ほど高いものではないが、高校生では0.500と高い値を示している。しかしウエイトでは、大学生の場合は最も高い「2万円以上」が高い値を示しているのに対し、高校生では「2千円未満」が最も高く、逆の結果がでている。また、「ファッションへの興味」および「被服購入店舗の種類」などのアイテムはそれほど影響しないことが明らかになったが、高校生においては「ブランドを気にする方か」の項目がやや影響し、そのウエイトから「かなり気にする」人の色名の知識度が高いといえる。しかし、大学生においてはそれほど高い値は示しておらず、全体的に色名の知識度と被服関係の項目との関連はそれほどないことがうかがえる結果であった。

## 要 約

学生の慣用色名の知識度を検討するために、知名度の高い80色名を選出し、これらの色名の知名度及び理解度について大学生および高校生を被験者として調査を行うと共に、月平均小遣い、月平均被服費、色彩情報の入手方法、ファッションへの関心度、嗜好色、ブランドへの関心度、被服購入店舗、雑誌購読率、購読雑誌の種類などについても調査を行い、色名の知識度に関与する要因を数量化Ⅱ類により検討した結果、以下のようなことが明らかになった。

1. 慣用色名の知名度において、被調査者全員が知っていた色名は、黄土色、ベージュ、深緑、藍色、純白、灰色の6色名のみであった。しかし、高校生においては、その他にも全員が知っている色彩が出現しており、更に、使用色全体の中でも大学生より高校生の方がよく知っている色名数が多いという結果であった。

2. 色名の理解度については、焦茶、黄土色、ベージュ、山吹色、抹茶色、深緑、藍色、紺、鼠色、灰色等が高校生、大学生ともに特に高い値を示したが、全体的に色名は知っているが、実際の色彩は判らないという色彩が多く出現した。また理解度の高い色彩は日本語の色名のものが多かったが、色名の理解度においては、高校生より大学生の方が高いことが明らかになった。

3. 色名の知識度に関与する要因として、大学生においては、色彩の情報入手方法における「学校」が最も大きく関与し、高校生ではほとんど影響していないことから、大学において色彩学等の講義科目が開講されていることの影響がうかがえる。高校生においては、雑誌の購読率が最も大きく影響するという結果が得られ、この項目は大学生についても高い係数を示しており、どちらもよく購読する学生が色名の知識度が高いといえる。また、購読雑誌の分野では学術雑誌が大きく影響するという結果であった。その他のアイテムとしては大学生、高校生とも月平均小遣いがあげられ、小遣いが多い人ほど知識度が高いという結果であった。

## 文 献

- 1) 城一夫：世界慣用色名色域辞典，光村推古書院（1986）
- 2) 城一夫：COLOR ATLAS 5510，光村推古書院（1986）
- 3) 日本色彩学会：色彩科学ハンドブック，531～578，東京大学出版会（1980）
- 4) 日本規格協会：J I Sハンドブック色彩，89～97，日本規格協会（1972）
- 5) 林知己夫他：情報処理と統計数理，産業図書株式会社（1972）